

## 第 116 回目のGIS News!です

ご案内しておりました「全国縦断GIS実践セミナー」を無事に終了する事が出来ました。ご後援頂きました山形県始め各団体、そして、ご参加頂きました皆々様、誠にありがとうございました。組合員一同心より御礼申し上げます。

さて、8月29日「東北公益文科大学」で開催されたセミナーについてご報告致します。

## 全国縦断GIS実践セミナーの報告



セミナーでは総務省情報通信政策局宇宙通信調査室の松沢一砂課長補佐が、携帯電話など移動可能な端末でGISを利用できるようにするために国が進めている研究開発について、奈良大学地理学科の確井照子教授が地理空間情報を基本理念とした地理空間情報活用推進基本法（8月29日施行）について説明して下さいました。また、県立農業大学の小田九二夫教授から、システムを活用した農作物の品質向上の取り組みなどを紹介していただき、酒田工業高等学校土木システム科の1年生の池田愛菜さんと梅川洋一くんが、GISを使ったまちづくり計画について発表して下さいました。

毎年全国各地で開催している同セミナーで、高校生が講演するのは今回が初のことです。高校の授業でGISを取り入れているのは東北でも珍しく、基調講演いただいたGISの第一人者である確井教授から「酒田工業高校の生徒さんの発表は大学レベルのものでした」とお褒めの言葉をいただきました。酒田工業高校の講演内容は、昔の町並を再現した山居倉庫の歴史体験施設や、市街地を低料金で巡回する電車の経路、浸水予測地域や避難場所を示したハザードマップなど、酒田市の都市計画プランの提案でした。このプランは、昨年春卒業した土木システム科の生徒さんが、半年かけてGISに組み込んだもので「先輩が作り上げた研究を大勢の人に伝えたい」と発表していただきました。GISは地図（測量）と情報（システム）の融合です。土木システム科で両方を学び、最先端の技術であるGISを指導下さる先生方がいらっしゃるから、同セミナー初の高校生の講演、そしてレベルの高い発表に繋がったのだと思います。また、確井教授から「GISの普及には人材育成が大きな課題となります。今回のセミナー会場が大学という場所であり、そして、地元の高校でGISの授業が行われているということで、高校と大学が連携した人材育成が可能です。今後の展開に期待します。」とのコメントをいただきました。

今回のセミナーを通して分野を越えた関係が構築されました。学に民官が加わり、庄内地域で様々な分野でのGISの展開が期待できるのではないかと感じたセミナーでした。

## 次回のGIS News!

今回は、2007年10月15日発行予定です。よろしくお付き合いください!

## Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 佐藤まゆみ 発行日：2007年9月3日

